

# とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年2月10日発行 第15号  
更別村コミュニティ・スクール委員会

## みんなの学校応援団 の活動を紹介<その11>

### 「パラスポーツで障がい者理解」

1月22日。更別中央中学校では、2年生の総合的な学習の時間に、帯広の車いすラグビーチーム「シルバーボックス」の米澤さん、上野さんに来ていただき、「車いすラグビーをとおしてパラスポーツと障がい者にふれてみる」という授業が行われました。



お二人は、事故等で下半身不随になってしまいましたが、もともとサッカーやラグビーをやってきた経験から、車いす生活となった今も、車いすラグビーを楽しみ、同時に学校等を回って、パラスポーツや障がい者理解のための取組をされています。

今回は村社会福祉協議会の野々村さんのご紹介で、この授業が実現しました。



生徒たちは実際の競技用車いすに乗せていただき、その操作や、激しくぶつかり合う経験をさせていただきました。楽しく笑顔で取り組んでいました。

障がい者理解というと、どうしても重いテーマ、授業になりがちですが、こうして明るく楽しい授業の中から障がい者理解が進んでいくことはとても良いことです。

米澤さんは「実際に車いすで生活していると、スーパーで棚の豆腐が取れないなど、ちょっとした手助けがほしい場面がある。そんな場面に出会ったら『手伝いましょうか』と気軽に声をかけてほしい」と話され、生徒たちの心にもしっかりと届いたようです。今年開催される東京パラリンピックへの関心も、より高まったものと思います。

### 「第3回学校運営協議会」



2月7日。同じく更別中央中学校では、本年度3回目となる学校運営協議会が開催されました。

校長先生から本年度の学校運営の進捗状況、教頭先生からは生徒・保護者・教職員による学校診断アンケートを基に行った学校評価について説明がありました。

意見交換の中では、前回の協議会で、朝読書の読書ボランティアについて「地域配布の学校だよりで募集してみてもは」という意見が出され、取り組んでみたところ、早速、お二人に応募いただいた件が報告され、改めて協議会の意義が確認されました。

また、なかなか登校できないお子さんに対して、子育て応援課との連携や適応指導教室のような居場所づくりについて。他にも学力調査の結果から、学習支援の仕方にかかわること。教職員の働き方改革の取り組みの成果など、様々な話題で熱心な協議が行われました。

その後、給食の試食、授業参観をして、協議会の日程を終えました。